

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	中央・九十九里部会 例会		
タイトル	上総地方の代表的な社寺林-----高滝神社の森と睦沢妙楽寺の森		
実施日時	平成 30 年 11 月 18 日 (月) 9 時 30 分~14 時 30 分		
実施場所	市原市、睦沢町		
受講者	名	F I C 会員他スタッフ	6 名

### 活動の内容

今回は上総地方の代表的な社寺林、高滝神社の森（県指定天然記念物の常緑／落葉広葉樹林）と睦沢妙楽寺の森（県指定天然記念物のスダジイ極相林）」を訪れました。

高滝神社の森は千葉県最大の人口湖である高滝湖に面した独立丘陵上に発達した社寺林で県指定天然記念物、郷土環境保全地域となっています。丘の南面と北面でかなりの違いが見られ、北面には樹高 20m を超えるコナラの巨木が点在、その他にムクノキ、クヌギ等を含む落葉広葉樹が多いのに対し、南面にはスダジイが優先し、その他にウラジロガシ、サカキ等が混生、低木・亜高木としてカクレミノ、ヒサカキ、アリドオシン等の鬱蒼とした常緑広葉樹林になっています。

また境内には 200 年生のナギ（ご神木）をはじめ杉やイチョウの巨木、また境内の崖にはシダ類のほかに千葉県のほぼ北限のイズノシマダイヤモンドソウ、ケイワタバコなども観察できました。

午後は睦沢妙楽寺の森、ここは高滝神社の森とほぼ同緯度に位置しますがより南方系の植物が優先すると感じられる森です。シダ類が多くみられることでも有名な森ですが、暖地性（南方系）の植物としてツルコウジ、オオアリドオシ、オオバナスビトハギ、イズセンリョウ、キミズ（イラクサ科）なども見られます。尚、妙楽寺の大日如来像は像高 2.8m、平安時代後期の作でカヤ材の一木割刳で、国重要文化財に指定されています。

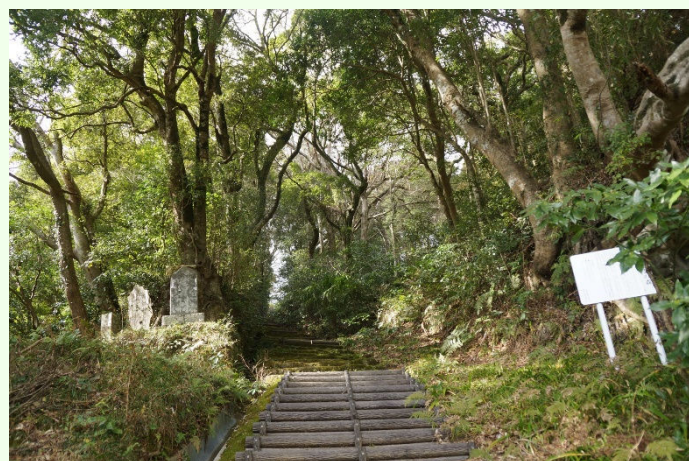
二つの森をめぐることで、「北総の南限」と「南総の北限」を感じ取りつつ帰途につきました。



ナギ（ご神木）



イズノシマダイヤモンドソウ



左：妙楽寺の男坂

中：キッコウハグマ（妙楽寺）

右：アズマネザサの開花（妙楽寺）